

<山家さん、今どこやってんの？>

★大河原町・0様★



屋根のカタチが、格好いいです☆



素敵な窓が、気になりますね♪

屋根のカタチや窓の配置が、いつもとちよって違いますよ！完成が楽しみです☆



壁ボードを張っている 藤野君♪



階段取り付け作業中の 勝弘君



床材をカットしている 佐藤さん

★大河原町・S様★



古かった浴室をユニットバスに交換♪お風呂時間が楽しくなりました☆

★大河原町・C様★



転倒を心配していた子供さんの計らいで、外と内に手すりを設置しました♪



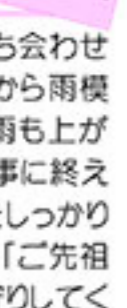
ここにあるのも嬉しいですね☆

あとがき★ みなさんGWは、いかがお過ごしでしたか？私は、家中をあちこち、少しずつですが、お片付けをしていました。家中に溢れるほどあるモノたちとの暮らしを何とかしないと、と昨年の秋から、お片付けの勉強（整理収納）をしています。これがなかなか進まなくて、…結局のところ、お片付けて、暮らしの大きさに合わせてモノたちとお別れをしなければ始まらないらしく、そのお別れが、なかなかできないんですよ…。「それって、本当に必要？」とお別れして、適正な量になったところで、いつでも使いやすいように、定位置を決める。それだけなのですが、それが、なかなか進まないのです。GWは、あけてしまいましたが、「これは、本当に必要な？！」と、問いかける日々が、まだしばらく続きそうです。 S

お引き渡し♪

柴田町 U様

新築おめでどう
マシイます♪



お引き渡しの前の、ご祈祷に立ち合わせていただきました。当日は、朝から雨模様でしたが、ご祈祷の時には、雨も上がり、家のお払いお清めも無事に終えることができました。「雨に地をしっかりと固めていただいたのですよ」「ご先祖様がちゃんと見て下さって、お守りしてくださっているのです。」そんなあたたかいお言葉に、みんなが、優しい笑顔になりました。



どのお部屋も、お祝い、お清めが終わり、これから安心して暮らすことができますね♪

完成見学会風景♪

U様のご厚意により、開催させていただいた完成見学会です(´▽`) この2日間は、あいにくのお天気でしたが、理想の家づくりにワクワクの進行中のお客さまから、OBさま、そして、はじめてのお客さまにも、ご来場いただくことができました☆会場は、特に混みあうこともなく、和やかな雰囲気、笑顔あふれる2日間となりました。見学会を開催させていただいたU様、悪天候の中、足を運んでくださったみなさま、本当にありがとうございました。



細かい部分を見ながらの確認です！



CGで、自分のおうちをイメージしてワクワク



耐震ロックの解除は、実際にやってみると、わりと簡単です！

山家工務店の

* *

ゆったり時間 * まったり時間

byもくもく通信

*

* 2021.5 こいのぼり号



ブログへ

株式会社 山家工務店

代表取締役 山家英富

〒989-1221 宮城県栗田郡大河原町字緑町 2-3

☎0224-52-6680

☎090-4889-3364

e-mail: yanbe@star.ocn.ne.jp

https://yanbekoumuten.com



こんにちは山家工務店 山家です。ホーホケキョ♪山が萌え、風香り深呼吸したい季節がやってきました。田んぼは水が入り始め、にぎやかになりつつあります。これが仙南のゴールデンウィークですね、おかわりありませんか？



5月1日またまた強い地震が来ました。私は連休後に始まる工事の挨拶周りをしていたのですが、地震です！地震です！と携帯がしゃべったと思ったら揺れ始めました。仙南は震度4で大きな被害はないようでしたが、びっくりしました。大丈夫でしたか？

地震被害の修理依頼が増えています。私はお決まりのように地震保険に入っていますか？保険の請求はしましたか？と聞くんですが、大したことないから請求していないという方が、多いんです。一般的には地震発生から3年で時効になります、なので3年間は請求できるんです。請求していいのかわからない方は0224-52-6680山家工務店まで。

ここからは地震保険を請求して保険金が下りた方についてです。地震保険がおりても改修する義務はないようですが、但し注意が必要です。修理をしない場合どうなるのか？地震で今後被害が起きても直さない箇所は地震保険の適用にはなりません。保険を勉強している仲間が保険の調査員に指摘されたそうです。直してまた地震被害にあったら損傷程度(損傷が5%未満だと出ない場合があります)によりますが、また請求できます。すぐにとはいませんが修理されることをお勧めします。

ワクチン接種が始まりつつあります。一般にはまだのようなので感染に気を付け、今月も顔張りましょう！

山家工務店の歴史

いの七番

山家工務店の始まり
～材料の話 1～



<家を建てる材料って、昔はどんな風に手に入れたの??>

今から約60年前、富吉さんが独立した頃は、今のように材木屋さんから自由に買うことができませんでした。加工されているものは、とても高価だったのです。では、どのようにしていたのでしょうか。

山や居久根を持っているお客さんは、その所有している木を、家を作る材料にしていた。富吉さんは、現場に行って、材料を見定め、どの木を使うか決まると、切り方が、始まります。

木を切ると言えば、チェーンソーですが、当時は、モノが高い時代で、チェーンソーは、とても高価なもので、若い富吉さんにとっては、高根の花でした。しばらくの間は、手ノコ(のこぎり)で、地道に「ぎこぎこ」と、切り倒していました。



「手ノコでは、手に負えないような大木は、材木屋から、チェーンソーを借りることもあったんだなあ」「チェーンソーが、欲しかったんだなあ」という富吉さん。

木を所有しないお客さんには、材木からの準備が、必要でした。材料を手に入れることは、大工にとってとても大事なことです。どんな木で作ると丈夫で、見栄えがするのか、富吉さんは、常に考え、暇さえあれば、山や居久根を見てまわっていたそうです。いい山や居久根を見つけると、すぐに交渉し、なけなしのお金でその木を買って、材料にしました。「売らないなんて言われちゃうと、がんばっちゃうんだよ～」「一日に100本以上倒した日もあったんだよ」と笑顔になる富吉さん。

昔はモノの値段が高い時代で、人工(工賃)をかけてもいい時代と聞きました。おでつてさんと手ノコで、1軒分の木材を切り倒していたなんて、とても驚きです。こんな大変な仕事の毎日なのに、大変だったこととお聞きすると、「特になかったかなあ」と言われます。苦勞を苦勞と感ずがむしやりに働いていた富吉さん。若いころは本当にパワフルだったんだなあと思えて感しました。

* 山家工務店からのお知らせ *

■ただいまホームページ工事中です。
5月末にリニューアルできる予定です♪
全く違う形に変わる予定ですので、驚かないでくださいね!! (*^^*)